

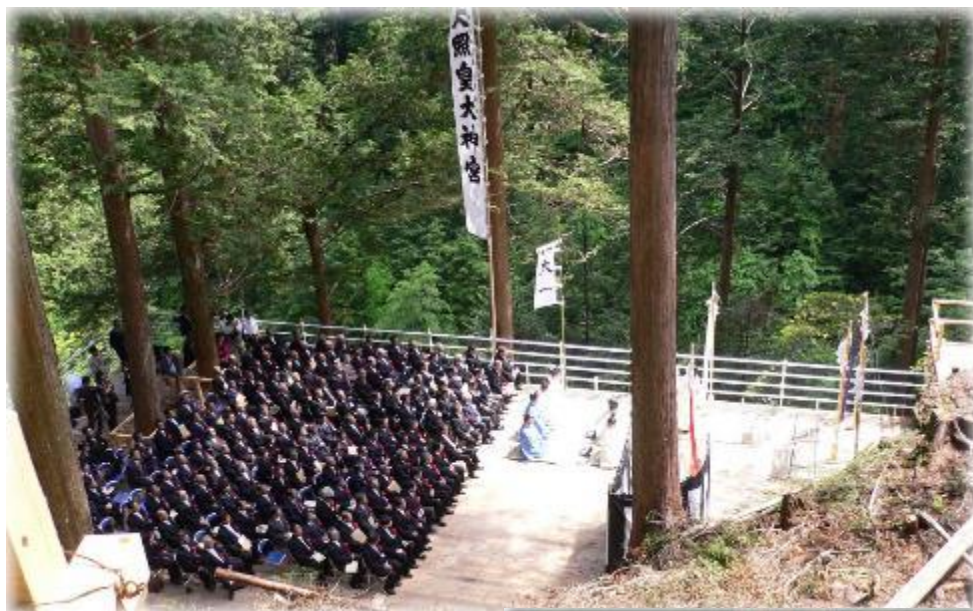
「農村RMOにおける各府省施策の活用について」



岐阜県中津川市 加子母むらづくり協議会

加子母地域の概要

- 岐阜県の東部、中津川市の最北部に位置し、総面積114.16km²の94%を山林が占め、地域全体が中山間地域
- 中津川市の中心部までは車で50分の距離



20年に一度執り行われる
伊勢神宮式年遷宮
御神木伐採式



加子母地域の概要

- 地域の人口は**963戸2,498人**(R2国勢調査)
- 南北約10キロに10の集落があり、それぞれの集落協定を締結
- 農家数は**407戸**、8割以上の世帯が森林を所有
- 保育園 1施設 (37人)
- 小学校 1校 (85人)
- 中学校 1校 (71人)
- JA、郵便局、商工会支所 (各1)



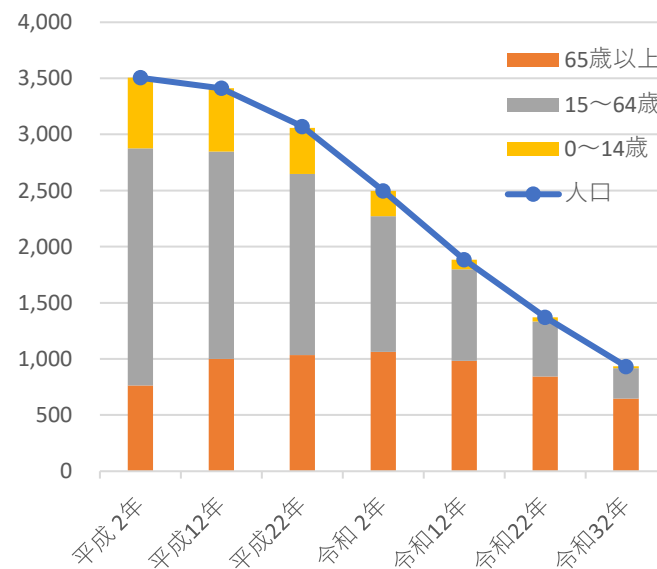
加子母地域の概要

人口は、平成2年の3,506人から、令和2年は2,498人と30年間で1,008人減少、高齢化率は21.8%から42.5%となり、**過疎・高齢化**が進んでいる。

特に、将来の担い手となる**子供たちは激減**して危機的な状態。

	平成2年(1990)	令和2年(2020)	増減(率)
加子母地域の人口	3,506人	2,498人	▲1,008人(28.8%)
① 65歳以上	763人	1,062人	299人(39.1%)
② 15歳～64歳	2,112人	1,210人	▲902人(42.7%)
③ 0歳～14歳	631人	226人	▲405人(64.2%)

国勢調査より	人口	年齢別			児童生徒数
		65-100	15-64	0-14	
1990 (平成 2年)	3,506	763	2,112	631	403
2000 (平成12年)	3,411	1,001	1,847	563	371
2010 (平成22年)	3,071	1,034	1,615	410	276
2020 (令和 2年)	2,498	1,062	1,210	226	175
2030 (令和12年)	1,884	982	815	87	68
2040 (令和22年)	1,371	842	492	37	30
2050 (令和32年)	932	646	270	17	??



加子母むらづくり協議会の組織・運営体制

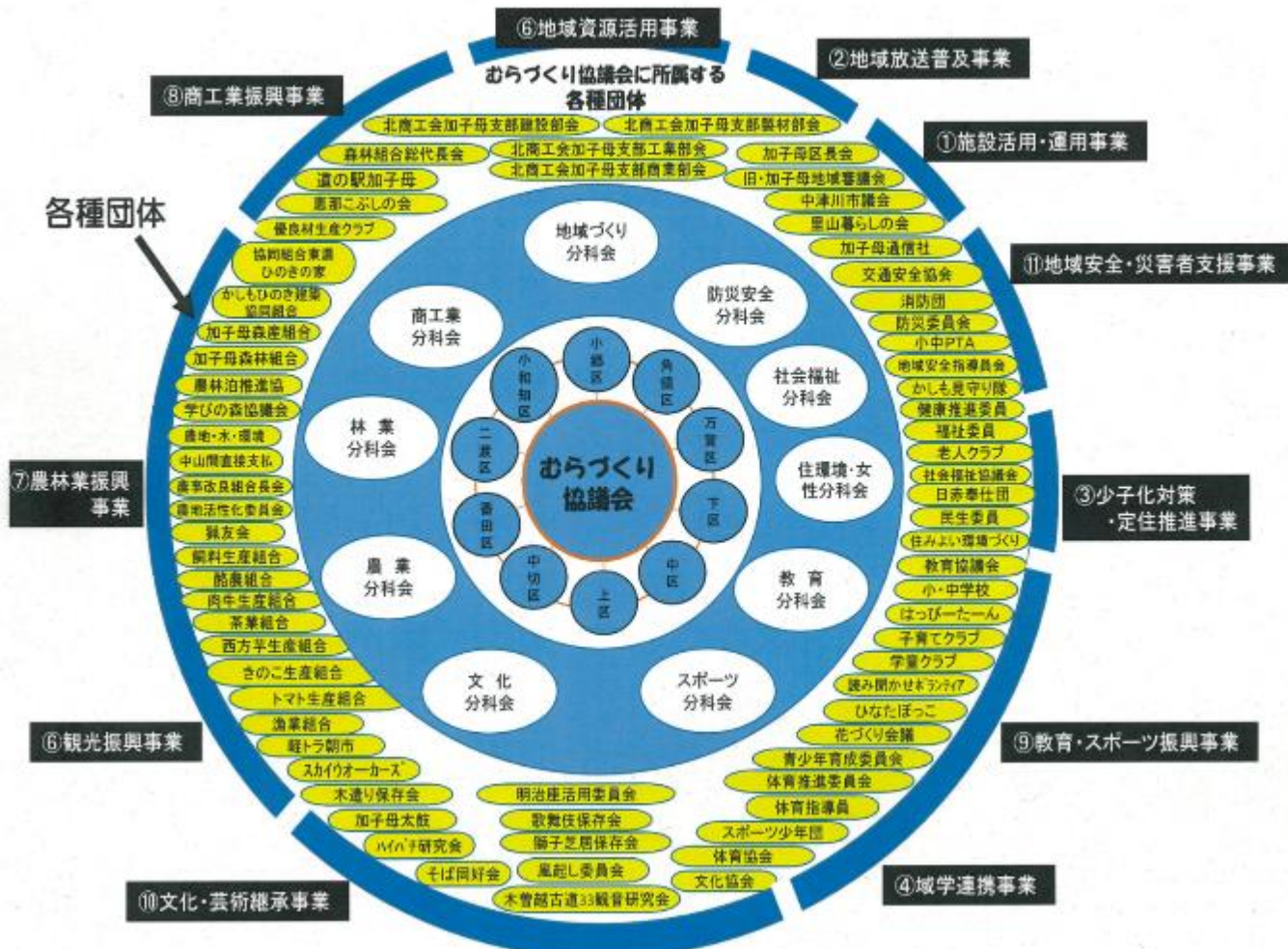
区長会（地縁団体）

- ・明治30年から続く制度。
- ・区長は選挙により選出（任期は1年）
- ・区長の下に班長や農事改良組合や各種委員を選出し運営



分科会（専門部会）

- ・地域づくり、防災安全、社会福祉、住環境・女性、教育、スポーツ、文化、農業、林業、商工業のテーマごとに活動
- ・それぞれ座長を選出（任期の定めなし）



加子母むらづくり協議会 これまでの経緯

- 平成17年2月 中津川市に合併 旧町村ごとに地域審議会が設置
- 平成24年3月 地域審議会を発展させ、**加子母むらづくり協議会** 発足
- 平成25年度 **総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業**
大学生が持つ行動力やアイデア，教員が持つ知識や情報、人的ネットワークなどを地域再生の実践に活用
- 平成26年9月 かしも明治座保存修理工事着手（域学連携事業がきっかけ）
- 平成27年1月 **NPO法人かしもむら** 設立
- 平成27年度～ **農林水産省 農村集落活性化支援事業**
- 平成27年9月 かしも明治座保存修理工事完成
- 平成27年10月 かしも明治座運営、コミュニティバス運行の指定管理を受託
- 平成29年度 **総務省 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業**
加子母広報システム（広報・買い物・生活支援システムの構築）
総務省 地域おこし協力隊
域学連携事業の参加学生が着任、かしも明治座を中心とした観光振興
- 令和5年1月 認定NPO法人に認定（岐阜県）
公共性、公益性、健全性、透明性の基準をクリア
- 令和5年度～ **農林水産省 農村RMO形成推進事業**

地域力と学生力の連携による 「加子母る山村文化大学」



15大学310名、延べ4463名がフィールドワークを展開

京都大学

京都工芸繊維大学

金沢工業大学

京都造形芸術大学

立命館大学

東洋大学

武蔵野美術大学

多摩美術大学

名古屋大学

日本福祉大学

名城大学

名古屋工業大学

東京藝術大学 (OB)

愛知学院大学

大連民族学院



平成25年度 総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業

活動プログラム	事業内容
加子母木匠塾2013	木造建築（6大学5作品）
明治座クラシックコンサート	子どもたちのためのクラシックコンサート開催
明治座歌舞伎公演ワークショップ	舞台美術（加子母歌舞伎公演の舞台制作）
加子母中学校ワークショップ	中学生と加子母の将来についてのワークショップ
加子母PRビデオ作成	地域PRビデオ作成
温泉スタンド活用提案	加子母温泉スタンドの活用方法提案
ポタリングコースづくり	観光ポタリングコースの開拓
明治座耐震改修調査	明治座耐震改修に向けての現状調査
聞き書き「加子母人2」	聞き書き講習会、聞き書き活動
加子母川（白川）河川調査	加子母川の河川生態調査
山村文化調査	様々な視点からの山村文化調査
木匠塾シンポジウム	学生自身が作る木匠塾シンポジウム開催



30年つづく加子母木匠塾

平成7年から続く加子母木匠塾は、全国から大学生が集まり木造建築実習に取り組む。公共建築や学校遊具、バス停、公園ベンチ等を地元工務店の指導のもと制作。最近では300人もの学生が加子母を訪れる。自然や地域に溶け込み、大学での勉強だけでは習得する機会のない日本の伝統的な木造建築の技法も体験。森林見学や間伐体験などを通して実際の森林や山村の現状を知り、国産材や森林の持続可能な利用を考えるきっかけとなっている。



ディスカバー 農山漁村の室 東海農政局選定

06 加子母木匠塾
岐阜県中津川市

— ヒノキの本場で学ぶ匠の技「加子母木匠塾」 —

農林漁業・農村文化体験 教育機関との連携

完成した福崎公園バス停

岐阜県
中津川市

問い合わせ先
〒508-0421
岐阜県中津川市加子母3519-2
tel 0573-79-3669
fax 0573-79-3669
mail kashimomurazukuri@gmail.com



福崎公園バス停の作業風景：滋賀県立大学



中学生への引き渡し式：金沢工業大学

- 概要**
- 平成7年に建築系の大学教授が中心となり「加子母木匠塾」を設立。令和元年は8大学が参加するとともに、25周年を迎え、延べ4千人以上の学生が木造建築に真剣に向き合った。
 - 学生たちは、夏休みの約2週間で日本の伝統的な木造建築の技法を学ぶとともに、トマトの収穫や郷土料理の朴葉寿司づくり体験など、農山村地域の現状を考えるきっかけとなる体験メニューも織り交ぜながら実施。
- 成果**
- 令和元年の参加大学は、京都大学、京都工芸繊維大学、京都造形芸術大学、立命館大学、滋賀県立大学、金沢工業大学、名城大学、東洋大学の8大学で278名が参加。
 - 学生たちが農山村地域での田舎暮らしを体験し、卒業後も継続的に地域に関わることで、高齢者など地域住民の地域資源の再認識や誇りの再生、また、年間通して学生たちが対流することにより地域が活性化。

30年つづく加子母木匠塾



古民家の改修



小学生と木育教室



コロナ禍中での水車制作



祭りへの参加



スマート農機体験



草刈り講習



木材市場の見学



未利用材搬出

域学連携による「関係人口」の構築

かしこ
明治座
Kashimo
MEDIZA
Theater



平成27年、域学連携事業がきっかけで、傷みが大きくなっていた明治27年創建の県有形民俗文化財の農村舞台「明治座」が、創建当時の樽葺き屋根に復元されました。

域学連携事業で在学中から、この明治座改修の記録保存に関わっていた名古屋工業大学の学生と、地歌舞伎の空間演出のワークショップに来ていた武蔵野美術大学の二人の若者が移住し、地域サポート人材として活躍しています。

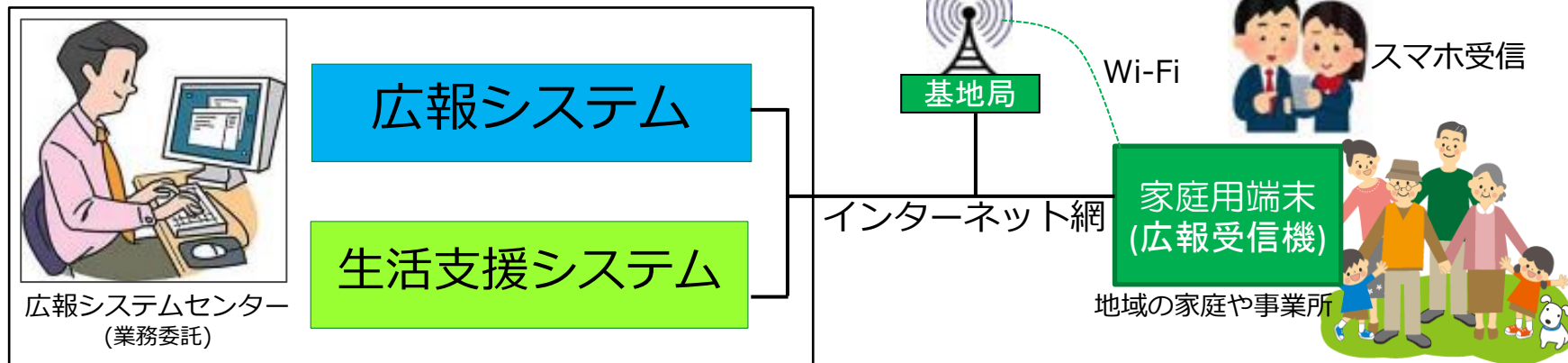


加子母の広報&生活支援システム



各戸に設置された端末機からは朝昼夜の定時に放送が流れる。買い物支援システムは、テレビ画面から商品を注文すると家に配達してくれるなどのサービスで、地元の商店の協力により様々な商品やお惣菜、弁当などが販売されており、高齢化が進むこの地域にとって買い物が困難な高齢者やその家族などに喜ばれています。

【システムの基本構成】



アリッツ (株)

2019年に本社をふるさとの加子母に移転したIT会社。広報システム全般の保守管理だけでなく、オンラインショップの受注管理や集出荷など広範囲にわたりサポートしてくれている。



集出荷・買い物サポート

ボランティアによる高齢農家の集出荷と買い物支援

地元の事業者の協力により、高齢農家の直売所への集出荷や買い物支援のサポート事業も開始しました。



通院サポート

透析患者のボランティア輸送

2022年1月から、予めから要望のあった透析患者さんのボランティア輸送サービスも開始しました。



見守りサポート

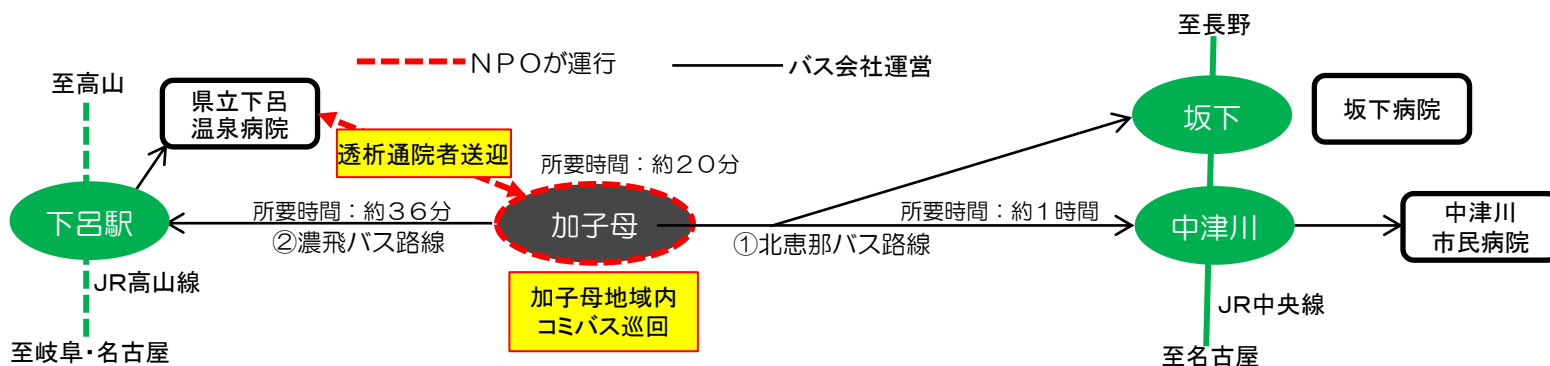
有償ボランティア「えぷろん」の活動

2022年7月から、高齢者・障がい者・子育て中のご家庭など、日常生活のちょっとした困りごとを住民同士で解決する助け合いの活動。社会福祉協議会とも連携しながら、公的サービスでは補えない部分をお手伝いしています。



生活支援 コミュニティバス運行事業（市指定管理事業）

中津川市から「加子母地区コミュニティバス運行事業」を受託し、高齢者や交通手段を持たない方の日常の通院や、買い物などの「お出かけ手段」として運行しています。



【コミュニティバス有償運送事業】

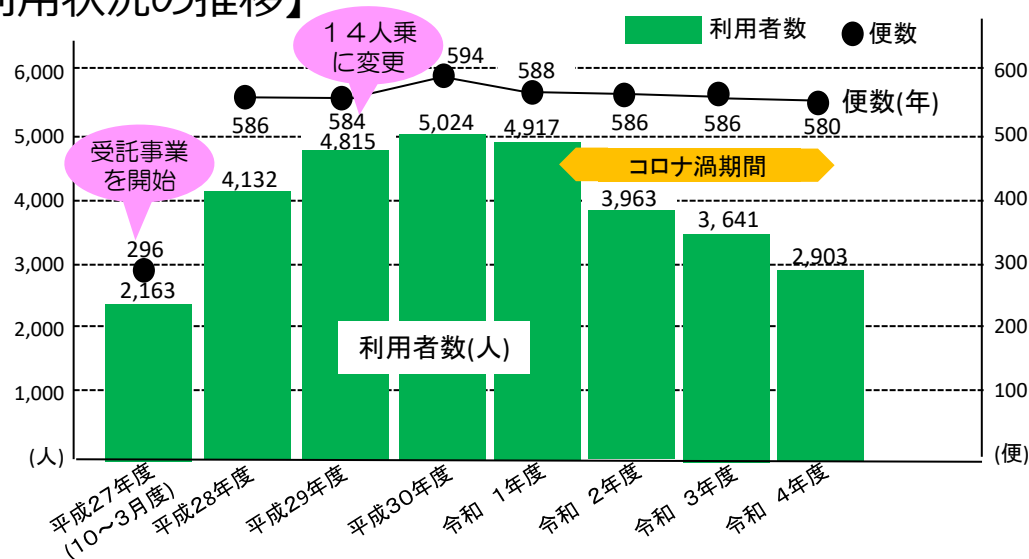
- ・平成27年10月 中津川市の管理委託を受託してコミュニティバス有償運送事業を開始。
- ・平成29年 7月 定員オーバーを回避するため10人乗りから14人乗りに変更。
- ・平成29年10月 停留所と一部路線を変更。
- ・令和2年～ コロナ感染防止により利用者の減少が進む。
- ・令和5年～ コロナ渦での外出自粛や高齢化の影響で高齢者利用の減少



【加子母コミバスの特徴】

- ・路線が1系統で地域を網羅していること。
- ・生活に必要な主要な施設が路線に接続していること…ワンストップで接続。
総合事務所、JA、歯科診療所、医院、薬局、郵便局、ショッピングセンター等
- ・寒冷地のため冬季(1～3月)に利用が減少する。

【利用状況の推移】



まだまだ検討段階ですが「特定地域づくり事業協同組合」

「特定地域づくり事業協同組合」

令和4年度に過疎地域にも指定。地元の商工会の事業者や農家も「人」不足が深刻で組合設立に向けた検討会を始めました。

- ・地域内だけでは繁忙期が重なる
- ・派遣できない業種との調整

地域の担い手づくり

仕事と住まいをセットで

暮らしに寄り添った職場選び



NPOスタッフがトマト農家で“朝活”に挑戦



白川ワークドットさんを招いての勉強会



はっぴーたーん企画の地元企業の職場見学会

住みたい地域は自分で創る **はっぴーたーん**

はっぴーレター

はっぴーレターは、地域みなさんに加子母の子育て環境について知ってもらい、糸者に考えもらえたらと思い子育て世代の声をお届けしています!

加子母で暮らすお母さんたちに
仕事探しについてのアンケートをしました!

お母さんたちの仕事探しの現場を知るためにはっぴーたーんの公式LINEを登録して下さっている方を中心にアンケートを実施しました!

◆現在の雇用形態について教えてください

①パート・アルバイト	64.3%
②主婦	21.4%
③正社員	14.3%

◆就業形態別の希望職種 (イメージ)

雇用	8.6%
商社	64.2%
製造	14.3%
サービス	12.9%
その他	1.0%

第1回! **社会見学**
おとなの **6月15日(水)**
普段見られない加子母の会社を見に行こう!

人づてによる職場探しは、ない選択肢の中から自分希望に合った職場を見つけたいという思いが現状です。

だれもが安心して暮らせるように

域学連携を通じた大学生と地域住民の交流を通じ、地域サポート人材としての関係性の構築と新たなコミュニティビジネスの創出を目指しています。

